

(高圧供給)

業務用電力(500kW未満・実量制)を新設する場合

電気使用申込書

東北電力株式会社 御中

記入例

平成XX年XX月XX日

住所 仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号

名称 〇〇〇〇株式会社

代表者 代表取締役社長 〇〇 〇〇



- ・貴社の電気供給条件[I], 下記申込の契約種別に該当する電気供給条件[II]等, および下記「東北電力からのお知らせ」を承認のうえ, 以下のとおり電気の使用を申込みます。
- ・貴社からの申し出に同意しない場合は, 速やかに異議を申し立てます。

需要場所	仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号		
契約種別	業務用電力 (常時契約) <input type="checkbox"/> 変更あり <input type="checkbox"/> 変更なし		
契約電力内訳	種別	kW	
	常時契約	現在契約 kW	今回申込 kW
	契約電力		245kW
	<input checked="" type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 契約受電設備の増加 <input type="checkbox"/> 実量協議 <input type="checkbox"/> 契約電力変更 <input type="checkbox"/> その他()		
その他	()電力の契約電力		
その他の契約条件	<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 契約受電設備の増加 ・(別紙)「想定最大電力の算定方法」に記載の計算式により, 契約受電設備等の総容量を圧縮計算し, 想定最大電力を記入ください ・上記の算定によらず, 新設後一年間の最大電力が想定できる場合等は, 事前にご相談ください		
使用開始希望日	平成XX年XX月XX日	業種・用途(製品名)	テナントビル
契約使用期間	月 日から 月 日まで	契約使用時間	
計量場所	<input checked="" type="checkbox"/> 添付書類のとおり <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> その他()		
需給地点	<input checked="" type="checkbox"/> 添付書類のとおり <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> その他()		
保安責任分界点	<input checked="" type="checkbox"/> 添付書類のとおり <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> その他()		
財産分界点	<input checked="" type="checkbox"/> 添付書類のとおり <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> その他()		
電気方式	交流3相3線式	受電電圧 6,000 V	周波数 50 ヘルツ
本社住所	仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号 TEL(XXX-XXX-XXXX)		
連絡者	総務部 課長 〇〇 〇〇 TEL(XXX-XXX-XXXX)		
料金のお支払方法	<input checked="" type="checkbox"/> 口座振替 <input type="checkbox"/> 契約振込		
料金ご請求先住所	仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号 TEL(XXX-XXX-XXXX)		
電気主任技術者	〇〇 〇〇 TEL(XXX-XXX-XXXX)	官庁申請	承認 XX年XX月XX日 XXXXXX号
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 単線結線図, <input checked="" type="checkbox"/> 使用区域平面図, <input type="checkbox"/> 電灯・動力配線平面図, <input checked="" type="checkbox"/> 装柱図, <input type="checkbox"/> 保安規定届出書(写) <input type="checkbox"/> 主任技術者選任届出書(写), <input checked="" type="checkbox"/> 高調波流出電流計算書		
電気工事会社	〇〇電気工事(株) TEL(XXX-XXX-XXXX)	現場電話	XXX-XXX-XXXX
備考	(お申込み内容, 増減理由等) テナントビルの新設		

— 「東北電力からのお知らせ」 —

- ・当社はお預かりした個人情報, 当社が行なう電気事業, ガス事業およびこれらに付帯関連する事業の適切な遂行のために必要な範囲で利用いたします。
- ・契約変更申込の場合の供給条件の変更点については, 別途書面でお知らせいたします。

2. 契約受電設備

設備照合	機器名	相	電圧 (V/V)	容量 (kVA)	結線	台数		合計容量(KVA) (群容量換算後)	
						施工	施工後		
	変圧器	3	6600/210	300	Y-Δ	1	1	300	
	変圧器	単	6600/210-105	100	— — 三	1	1	100	
	合計						2	400 kVA	
	計算電力								kW

コンデンサ	施工	150 kVA	1 台	kVA	台	kVA	台
	施工後	150 kVA	1 台	kVA	台	kVA	台

契約電力
受電設備電力
負荷設備電力
実量協議電力
kW

3. 自家発電設備

発電機種類	電圧	運転形態	容量 (kVA)	台数	合計容量 (kVA)	連系の有無		
1. ディーゼル・ガソリン	高圧	常用	50	1	50	無		
	低圧	非常用						
2. ガスタービン	高圧	常用						
	低圧	非常用						
3. 蒸気タービン	高圧	常用						
	低圧	非常用						
4. 水力	高圧	常用						
	低圧	非常用						
5. 太陽電池	高圧	常用						
	低圧	非常用						
6. 蓄電池	高圧	常用						
	低圧	非常用						
7. その他()	高圧	常用						
	低圧	非常用						
発電機の総出力								kW

東北電力処理欄

V結線の場合の群容量算定 (端数は小数点以下第4位で四捨五入)

1. その変圧器から使用する負荷が三相負荷のみの場合	2. その変圧器から使用する単相負荷がある場合	3. 変則V結線の場合
$(\text{単相容量} \times 2 \times 0.866)$ $\square \times 2 \times 0.866 = \square$	$\left[\begin{array}{l} \text{単相負荷設備} \\ (\text{単相容量} \times 2) \times \frac{\quad}{\quad} = A \\ \text{総負荷設備} \\ \{(\text{単相容量} \times 2) - A\} \times 0.866 + A \end{array} \right]$ $(\square \times 2) \times \frac{\quad}{\quad} = \square$ $\{(\square \times 2) - \square\} \times 0.866$ $+ \square = \square \text{ kVA}$ <p>* 負荷設備容量は入力換算後</p>	$((A-B) + (B \times 2 \times 0.866))$ A: 電灯電力用変圧器容量 B: 電力用変圧器容量 $(\square - \square) +$ $(\square \times 2 \times 0.866) = \square \text{ kVA}$ (注) $(A-B) \left\{ (A+B) \times \frac{\text{単相負荷設備}}{\text{総負荷設備}} = C \right\}$ の場合は $(A+B) - C \times 0.866 + C$

様式2の2F(2枚目)

備考

(特別高圧, 高圧, 季節別時間帯別)

必要に応じてご提出をお願いすることがあります

使用開始希望日以降1年間の電力使用計画

月 別	最大電力 kW	電 力 量 10 ³ kWh	負 荷 率 %	時間帯別電力量内訳 (10 ³ kWh)		
				ピーク時間	昼間時間	夜間時間
4月	250	84	39%			
5月	250	87	39%			
6月	250	84	39%			
7月	300	96	43%			
8月	300	96	43%			
9月	300	91	42%			
10月	300	89	40%			
11月	250	82	38%			
12月	250	78	35%			
1月	250	78	35%			
2月	250	71	35%			
3月	250	78	35%			
	◆年間負荷率の求め方 $\frac{\text{年間使用電力量(kWh)}}{\text{契約電力(kW)} \times 365 \text{日} \times 24 \text{時間}}$					
計	300	1,014	39%	各時間帯別電力量(%)		
	想定最大電力を記入してください			ピーク時間	(%)
				夏季昼間	(%)
				その他季昼間	(%)
				夜間	(%)

季節別時間帯別電力の場合は、
時間帯別電力量内訳も記入してください

なお、各時間帯の説明については、
「電気料金メニュー」のページで

◆月間負荷率の求め方

$$\frac{\text{その月の使用電力量(kWh)}}{\text{契約電力(kW)} \times \text{暦日数} \times 24 \text{時間}}$$

季節別時間帯別電力の場合は、
各時間帯別の合計電力量と構成比を
記入してください

- (注) 1 自家発の使用電力量があるときは、上記の最大電力、電力量および負荷率の各々の欄を受電・自発および合成と区分してご記入ください。
 2 時間帯別電力量内訳は、季節別時間帯別電力を契約のお客さまで、自発分を除く受電分のみをご記入ください。
 3 ピーク時間の該当のない月は、「-」をご記入ください。

電気のご使用開始にともなう実量料金制度（契約電力 500kW 未満）のお客さまの
電気使用申込み時の契約電力欄の記載について

電気のご使用開始にともなう実量料金制度（契約電力 500kW 未満）のお客さまの電気使用申込み時の契約電力欄の記載については、下記を参考のうえ記載をお願いします。

1. 基本的な算定方法

契約受電設備の総容量（単相変圧器を結合して使用する場合は、表 1〔契約受電設備容量の算定〕によって算定された群容量によります。）と受電電圧と同位の電圧で使用する契約負荷設備の総入力（出力で表示されている場合等は、各契約負荷設備ごとに表 2〔負荷設備の入力換算容量〕によって換算するものといたします。）との合計に次の係数を乗じてえた値といたします。

最初の 50 キロワットにつき	80 パーセント
次の 50 キロワットにつき	70 パーセント
次の 200 キロワットにつき	60 パーセント
次の 300 キロワットにつき	50 パーセント
600 キロワットをこえる部分につき	40 パーセント

(例) 契約受電設備の総容量が 400kVA の場合の算定式

$$50kW \times 80\% + 50kW \times 70\% + 200kW \times 60\% + 100kW \times 50\% = 245kW$$

2. 前記 1 によることが不適当な場合

お客さまから想定最大電力を算出できる資料をご提出いただき、協議させていただきます。

以 上

◆参考資料

(表 1) 契約受電設備容量の算定

単相変圧器を結合して使用する場合は、契約受電設備の群容量（キロボルトアンペア）は、次の算式によって算定された値といたします。

(1) △または Y 結線の場合

$$\text{群容量} = \text{単相変圧器容量 (キロボルトアンペア)} \times 3$$

(2) V 結線（同容量変圧器）の場合

$$\text{群容量} = \text{単相変圧器容量 (キロボルトアンペア)} \times 2 \times 0.866$$

(3) 変則 V 結線（異容量変圧器）の場合

電灯電力用変圧器 A（キロボルトアンペア）、電力用変圧器 B（キロボルトアンペア）を V 結線にしたとき。

$$\text{群容量} = (A - B) + (B \times 2 \times 0.866)$$

(表 2) 負荷設備の入力換算容量

3 相誘導電動機

契約負荷設備	換 算 容 量 (入力 [キロワット])
高 圧 誘 導 電 動 機	出力 (馬力) × 87.8パーセント
	出力 (キロワット) × 117.6パーセント